

第3回 小山市まちづくり総合交通戦略策定協議会

意見要旨と事務局の対応

日 時： 平成27年2月13日（金） 15:00～16:30

	意見要旨	対応
高岳引込線を活用した新交通システム導入の費用・採算性の検討について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新交通システムはあった方がよいが、概算費用がわからなければ議論できない。 ・ 採算性の検討から始められないか。採算性が見込まれれば実施してもよい事業だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の採算性検討の段階で提示したい。概算事業費がひとり歩きして検討が中座することは避けたい。また、システムの仕様やまちづくりとの連携の仕方により費用は変動する。さらに、小山市まちづくり総合交通戦略は市全体の計画であり、現段階で新交通システムだけの事業費を出してもあまり意味がない。(事務局) ・ 事業収益以外の効果も見込まれ、採算性は判断材料の一つにすぎない。(委員長) ・ 国の補助金活用等も視野に入れ、多様な切り口から可能性を検討していきたい。(副委員長) ・ 数年間は採算性は見込めないが、まちづくりとの連携により中長期的にはペイできる可能性もあると想定する。ただし、実現には様々な課題あるため、継続して検討していきたい。(事務局)
高岳引込線の活用展開について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元は高岳引込線を活用したコミュニティ形成やまちづくりを望んでいる。沿線の価値が上がることや線路横断の不自由が緩和されることも期待する。 ・ まちの活性化の切り札として新交通システムに期待する。事業費を先行検討したい。 ・ 今後人口が減少していく中で、人口の維持・増加を図ることが重要。 ・ 定住者が増える可能性がある。採算性より将来を見据え前向きな議論をしていきたい。 ・ まちづくりのイメージをどれだけ持てるかが重要である。 ・ まちづくりと連携して高岳引込線の活用が進むよう、意見を言っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元のコミュニティ形成やまちの活性化、定住者の増加などの多面的な効果が発現できるよう、沿線のまちづくりと連携しながら高岳引込線を活用した新交通システムの導入について検討していく。(事務局)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスとの連携も考慮しながら高岳引込線の有効活用を考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティバス等との役割分担や連携を図り、公共交通全体の利便性を高めていく。(事務局)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の検討では始めに論点や結論を明確にしたほうがいい。高岳引込線の詳細な議論に入っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度に開催する「(仮称)まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会」の初回で検討スケジュールや議題を提示する。(事務局)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出井下にはバスが通っておらず、高岳引込線を活用した新交通システムの導入を望んでいる。住民で基金を集めたり、自治会で負担金を出したりしてもよいと話している。 ・ 東光高岳としては、高岳引込線を活用することは問題ないが、製品の搬出時は優先的に利用できるようにすることと新交通システム導入の費用は出せないことが条件である。新交通システムを導入した場合に、黒字にする知恵を共に出し合えばいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や沿線住民の方々、新交通システムの運営ノウハウ等を有する民間事業者などと調整しながら、資金計画や利用促進策を検討していく。(事務局)
その他の意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新駅設置に係わる JR との調整はどの程度進捗しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR との協議まで至っておらず、調査や計画の段階である。(事務局)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前の駐輪場は整備完了となっているが、小山駅東口の計画はどうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央自由通路の整備に伴い駐輪場整備は完了しているが、利便性を向上させるため一部拡幅を検討している。(事務局)

以上